

【 11 月の予定 】

6日(木)： にこにこサロン 10:30～
 5日～7日:花の寄せ植え 9:30～16:00
 14日(金) ～ 16日(日)
 第36回福吉解放文化祭 9:00～



今月の人権カレンダー

【11月】
 児童虐待防止推進月間
 赤い羽根共同募金運動
 (～R8. 3. 31)
 ・世界こどもの日 20日(木)
 ・女性に対する暴力をなくす運動
 12日(水)～25日(火)
 ・犯罪被害者週間
 25日(火)～12月1日(月)

お好みの鉢で素敵な寄せ植え作りましょう！

ご家庭の使っていない植木鉢を活かしませんか？
 解放文化祭で展示する花の寄せ植えを、以下の
 要領で行います。

日 時： 11月5日(水)～7日(金)の3日間
 9:30～16:00の間で都合の良い
 時間にお越しください。

参加費： 1鉢 500 円(花苗・土等の資材代)
 鉢は各自持参
 ※直径 30 cm程度までの大きさのもの
 受付数： 先着15鉢まで

かわいい鉢植えで文化祭やあなたの
 生活に彩りを添えてください♪



部落解放文化祭映画上映会

11月15日(土) 上映
 映画「カムイのうた」

差別を受け虐げられながらも、アイヌ
 民族の文化や意志を後世に残すべく、
 奮闘する人々を描いています。
 個々のルーツを改めて
 認識したくなる作品です。
 ぜひ見に来てください。



場所 福吉児童センター図書室
 日時 11月15日(土)
 1回目 10:00～
 2回目 13:00～

生活で困っていることはありませんか？ ご飯を食べていますか？ 眠れていますか？

家族のこと・お金のこと・就職のこと・将来への不安など、どんなことでもどうぞ
 悩んでいることがあれば1人で抱えこまずにご相談ください。相談された内容は
 秘密厳守いたします。はばたき人権文化センターまでご相談ください。



差別落書きや差別発言などに遭遇
 した場合は、倉吉市人権政策課、又
 は、最寄りの人権文化センターまで
 ご相談ください。

倉吉市市民生活部人権政策課 Tel0858-22-8130
 はばたき人権文化センター Tel0858-22-0232

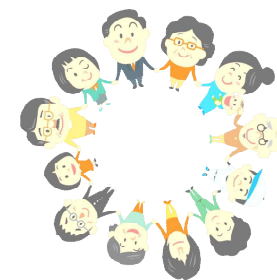
はばたき人権文化センターだより

はばたき

発行:はばたき人権文化センター
 住所:〒682-0872
 倉吉市福吉町 2 丁目 1514-7
 電話:0858-22-0232(FAX兼)
 E-Mail:habataki@ncn-k.net



11月号 NO.443 (2025年11月1日発行)



第36回福吉解放文化祭

テーマ 「 笑顔でつながる 心でつながる 」

人を思いやる「心」と人に向ける「笑顔」が差別のない明るい社会を
 作ります。部落差別をはじめとしたあらゆる差別をなくし、人権尊重
 意識を高めることを目的として開催します。

11月14日(金)～16日(日) (作品展示終日開催)

時 間： 9:00 ～ 17:00 (16日は14:30 まで)

会 場： はばたき人権文化センター

主 催： 第36回 福吉解放文化祭実行委員会

◆作品展示(14 日～16 日)

・福吉町 2 丁目自治公民館 ・絆 ・ひまわり保育園 ・聖テレジアこども園
 ・明倫小学校 ・社小学校 ・西中学校 ・東中学校 ・希望の家
 ・中央児童館 ・福吉児童センター ・はばたき人権文化センター

◆イベント(15日)

・遊び場(児童センター遊戯室) 13:30～16:30
 ・人権啓発映画上映(児童センター図書室) 10:00～、13:00～の2回

◆バザー・各種販売(16 日11:30～) ※オープニング「希望太鼓」披露(雨天中止)

・焼きそば ・おにぎり ・もち ・けんちん汁 ・さつまいもスティック
 ・飲み物 ・焼き鳥 ・お菓子のつかみどり など

※これまで実施していた「うどんサービス」は、諸事情により本年度から実施いたしません。ご了承ください。

にこにこサロン 隔週 木曜日 10:30～

◎今年度のテーマ:「みんなと一緒に参加しよう」



10月はこんなことをしました！

●10月2日(木)・16日(木)作品づくり

2日は前回挑戦したランプシェードの続きや、モザイクタイルコースターを新たに作るなど、参加者それぞれが作品づくりにいそしました。

16日は解放文化祭に向けた共同作品づくりに取り組みました。今年は「椿の木」を表現することになり、一人ひとりが好きな図柄の椿の花を選んで、ちぎり絵を作りました。和紙などを貼って思い思いに色づけた椿の一枝は、きっと文化祭に華やかな色を添えてくれることでしょう。



11月6日(木)10:30～

参加費200円(昼食代)

共同作品の最後の仕上げを行います。
一緒にがんばりましょう！

毎年11月は児童虐待防止推進月間です。

児童虐待は、家庭の中だけでなく社会全体の問題です。

児童虐待は特別な家庭で起きることではなく、どんな家庭でも起こりうる社会全体の問題です。

虐待には殴る・蹴るといった身体的虐待だけでなく、暴言や無視などの心理的虐待、十分な食事を与えない・世話をしないネグレクト、性的虐待など、様々な形があります。子どもが受けた心や体の傷は、成長してからも深い傷を残し、将来の成長や人間関係にも大きな影響を及ぼします。

私たちができること

虐待は家庭の中で起きることが多く、周囲の人が気づきにくいという特徴があります。しかし「最近あの子の様子が変わった?」「泣き声が頻繁に聞こえる。」「親が強く怒鳴っている。」といった小さな違和感が、虐待のサインである場合があります。

そう感じたときは迷わず全国共通ダイヤル「189(いちばやく)」に電話すれば、最寄りの児童相談所につながります。通告した人の秘密は守られ、匿名での相談も可能です。「もしかして…」と思ったら、通告することが子どもを守る第一歩になります。

子どもたちは社会の宝

子ども達は未来を担う存在です。私たち一人ひとりが関心を持ち、地域や職場、学校など身近な場所で「気づく・つなぐ・見守る」意識を持ちましょう。

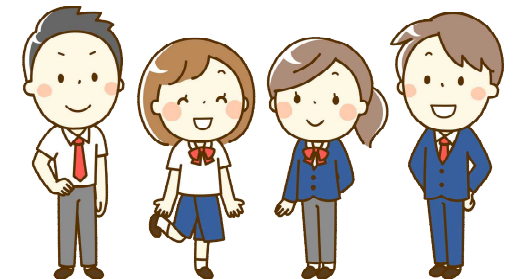


多様性が尊重される社会に向けて

本市では、「お互いを認め合い、安心して暮らせる人権尊重のまち」を目指し、性別、年齢、障がいの有無、国籍などに関わりなく、一人ひとりの個性が大切にされる社会に向けた取り組みを推進しています。今回は、性別に関する考え方や価値観が多様化しているなか、「多様性」について考えてみたいと思います。

全中学校でジェンダーレス制服を導入

市内中学校では、生徒の多様性に対応するため、令和8年度からジェンダーレス制服(ブレザー等)を導入します。これは、違いを認めることができる学校環境をつくり、多様な中学生の自分らしさを応援する取り組みです。



令和6年度 第43回全国中学生人権作文コンテスト鳥取県大会 入選作品から

奨励賞 「もっと自由に」

倉吉市立東中学校 1年 山崎希乃香

「女の子なのに、そういう服着るんだ」

5年生ぐらいのころ、こう言われるようになりました。その言葉があまり好きではありませんでした。男の人になりたいわけではないし、気にしたこともなかったのですが、心のなかにモヤモヤが残る感じでした。

私は「女の子らしく」「男の子らしく」という言葉がとても苦手です。そんな事言われても、自分の思うように生きたいのに、と感じます。

私は最近「推し活」にハマっていて、お母さんに「高校生になったら、推しのライブを見に行ってみたい!」と言いました。でもお母さんには、「女の子だから危ないよ、近いところならいいかもしれないけど。」と言われてしまいました。お母さんが心配する気持ちもわかりますが、女の子だからという理由で、自分のやりたいことができないのは悲しかったです。自分が女の子に生まれたことが少し嫌になりました。

6年生の頃、下級生をまとめる班長になりました。私は、小さい子の面倒を見るのが好きで、よく自分から話しかけに行っていました。それを続けていると、少しずつ、仲良くしてくれる子が増えました。ある時、下級生の子にこんなことを言われました。

「班長ってなんか女っぽくないよね!」

軽い感じで言われたその一言に、心が締め付けられました。年下の子が言う言葉だからこそ、辛かったです。女の子らしく、男の子らしくするのが当たり前が理解できませんでした。

周りの友達からも「〇〇ちゃんって男の子みたい」だとか言われました。「別にそうでもいいじゃん、本人が気にしている可能性もあるのに」と言いたくなりました。どうしてそんなことをいちいち本人に言うのか、もっと相手を気遣うべきではないかと思いました。

「女性らしく」「男性らしく」ではなく、「自分らしく」生きることができたら、きっと、生きやすい人は大勢います。「〇〇だからこうするべき」という固定概念を私は無くすべきなのではないかと思っています。

これから生きていく中で、性別に対し悩みを抱える人と出会うことがあると思います。そんな時、個性を尊重し、手を差し伸べることができる人に、私はなりたいです。

(鳥取地方法務局・鳥取県人権擁護委員会連合会発行 令和6年度 第43回 全国中学生人権作文コンテスト 鳥取県大会作品集より)

私たちにできること

皆さんはこの中学生の人権作文を読んでどう感じられましたか。

私たちは、多様な面を持ち、いくつもの違う立場を持ち、多くの人や社会と関わりながら暮らしています。

誰もが「自分のまま」で安心して過ごせる社会を実現するためには、これまでの固定的な男女の枠組みから脱却することが求められています。

